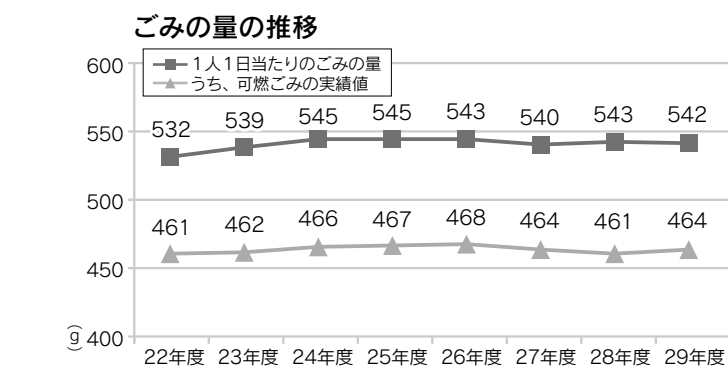
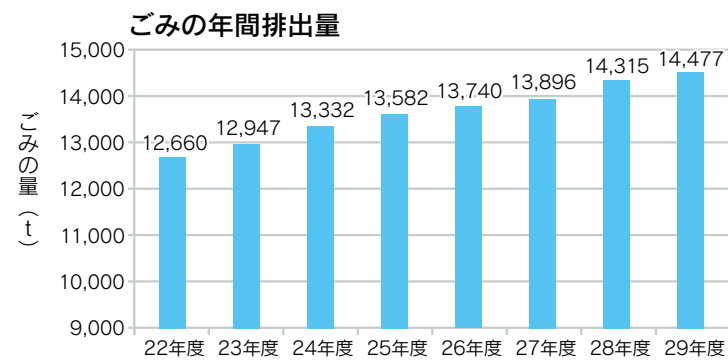
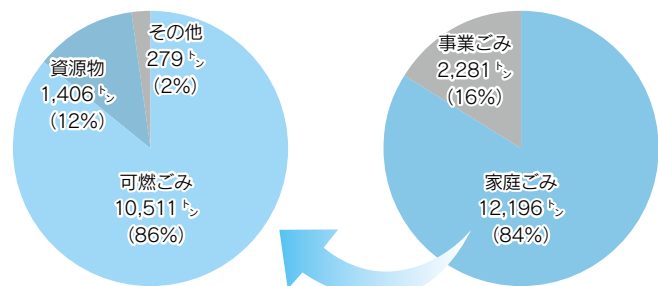


環境通信

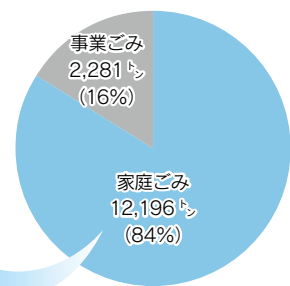
問い合わせ先 環境衛生課（合志庁舎） ☎248-1202



家庭から出るごみの内訳



平成29年度ごみの内訳



● **集合場所**
上生川…沖田橋
塩浸川…JA上庄倉庫前
栄体育館

● **ところ**
・上生川（沖田橋付近）
・塩浸川（城戸内橋・江良橋付近）

※雨天中止の際は市ホームページで午前6時ごろにお知らせします。

● **とき**

7月28日(土) 午前7時～

この活動は有明海などの海の環境悪化が社会問題となつたことをきっかけに始まった活動で、県内各地で河川や海岸の清掃活動などが行なわれています。

市でも例年河川の美化活動を行なっており、今年度も引き続き左記のとおり計画しましたので、皆さんのご参加をよろしくお願いいたします。

くまもと・みんなの川と海
づくりデー河川美化活動

平成29年度のごみの年間排出量は14,477トでした。人口増により昨年度より162ト増加しましたが、1人1日当たりのごみの量は542gで、昨年度より1g減っています。

可燃ごみだけを見ると1人1日当たり464gで近年減少傾向でしたが、昨年度より3g増加しました。

今後も、ごみの減量にご協力をお願いします。

家庭から出るごみの約85%は可燃ごみ

可燃ごみには、紙類などの資源物が多く混ざっています。資源物になるものは資源物の袋で出すか、地域の資源物回収団体に引き渡すことで可燃ごみの量を減らすことができます。

また、家庭から出る可燃ごみの多くは生ごみですが、この生ごみの約80%は水分と言われています。生ごみをそのまま出す前に、ひと絞りして水切りを行なうなど、一手間加えることでごみの量を減らすことができます。

皆さんのご理解とご協力をお願いします。

ごみの減量化を進めましょう

1人1日当たりごみを
542g出しています

環境人づくり企業大賞2017 株式会社セイブクリーンが環境大臣賞を受賞

6月4日、環境人づくり企業大賞2017で環境大臣賞を受賞した株式会社セイブクリーン(坂井さゆり代表取締役)が市長を表敬訪問しました。

この賞は自社社員を環境人材に育成する取り組みを行なう企業を表彰するもので、全国で2社が受賞。同社は地球環境と調和した企業経営の必要性を認識し、その実現のため自ら進んで行動する社員の育成が評価され、今回の受賞となりました。



「取り組んできたことが評価されてうれしいです」と語る坂井代表取締役

おいしい牛乳で伝える感謝 ちちの日に牛乳を贈ろうキャンペーン

6月14日、熊本酪農業協同組合合志女性部(長野千春部長)、JA菊池合志酪農女性部(山崎真由美部長)などから市長へ牛乳が贈呈されました。

このキャンペーンは、牛乳が「ちち」と呼ばれることから、牛乳の消費拡大のため、父の日の定番ギフトとして定着させるための活動です。菊池地域で発祥し、全国各地に広がっています。酪農家の皆さんが丹精こめて生産したおいしい牛乳を飲んでみませんか。



山崎部長(左)、長野部長(左から2番目)と共に贈呈された牛乳を味わいました

甘くて大きいスイカを贈呈 JA菊池スイカ部会

6月4日、JA菊池スイカ部会合志支部(平川誠也支部長)から市にスイカが贈呈されました。合志支部の皆さんが育てた甘くておいしいスイカは、市内11箇所の保育園・幼稚園にも贈られました。

また、6月5日、同部会西合志支部(村上幸記支部長)からは市内の福祉施設(菊香園、くぬぎ園、白鳩園、天使園)にスイカを贈呈。利用者の皆さんは、大きくて立派なスイカに喜んでいました。



①合志支部の皆さんと荒木市長(右上)



②西合志支部から施設への贈呈

誰が一番泥んこかな 田んぼで泥遊びイベント

6月中旬、市内各所で田植え前の田んぼを使った泥んこ遊びのイベントが行なわれました。

これは、普段はあまり入る機会のない田んぼで子どもたちに思い切り遊んでもらおうと行なわれているものです。参加した子どもたちは泥だらけになりながら綱引きや宝探しゲーム、ソリを使った競争などを楽しみ、「泥を踏むと沈むのが面白かった」「また田んぼで遊びたい」と笑顔で話しました。



①9日 西児童館
どろりんピック



②16日 合志小学校
どろりんピック